



START 事業の背景

熟練工頼みの製造機器を NC 制御に切り替え

主力商品のレジャーナイフの刃部を形成する研削機は、昭和中期に製造された旧型の油圧で動くものを、独自の部品を使いカスタマイズして使用してきた。この研削機の整備・調整には、熟練の知識と経験が必要であり、これができる熟練工は数人だけだった。そこで、NC 制御による研削機を導入し、これまで独自部品を付け替えて3次元研削していたものを一工程で加工することができればと思案。また、熟練工の減少や離職など人的リスクも軽減できることからものづくり補助金の活用を決めた。



ACTION 取組の内容

生産効率アップで 海外需要に対応できた

2004 年、レジャーナイフがニューヨーク・タイムズに掲載されたことで、海外で人気に火がついた。その後、2016 年には大手米国商社と北米地域での独占販売契約を締結。これにより、大量のオーダーをもらったが、NC 制御型研削機を導入したことで生産時間と、生産コストを大幅に下げることができ、生産効率が高まっていたので、この需要に対応することができた。また、熟練工が高齢で揃って引退する時期であったが、デジタル化により生産ノウハウを若手職人に引き継ぐことができた。



ABOUT 私たちについて

日本のマタギがルーツの 掘れるナイフが海外で人気

1959(昭和 34) 年ものづくりの町燕三条にて刃物製造・販売業で創業。ブランド名の「仁作(にさく)」は先祖の名前。自社製品は180 点。看板商品は「レジャーナイフ」と呼ばれる、土を掘ることが出来るスコップ状の刀身形状をもつ園芸用ナイフ。海外で「HORI HORI KNIFE(ホリホリナイフ)」と呼ばれ高い支持を得ている。グッドデザイン賞や、ニイガタIDS デザインコンペティションなどのデザイン賞を受賞するなどデザイン面でも評価が高い。



FUTURE 今後の展開

海外市場でのシェアを 伸ばしていきたい

これまでにアメリカ、ドイツ、オーストラリアなどの園芸専門店や海外商社と直接貿易を行い、国内の貿易商社との取引も増加している。現在の売り上げは海外が約30%。国内市場は縮小傾向ということもあり、反応も鈍い。一方、インターネットや輸送などの発展に伴い、海外との直接貿易

が可能となり、海外の事業者でも面白い商品や、良い商品を販売していれば、向こうから見つけてくれるようになった。また商談のスピードは圧倒的に海外のほうが早い。自社にしかない独自性の高い商品で認知度を高めることで、海外の売上をより伸ばしていきたい。

レジャーナイフは、外国人に合うサイズでの大型化も実現。深さ表示にインチを追加いたしました。



代表取締役
富田 博之氏

CASE

8

平成 26 年度

株式会社富田刃物

生産効率化で 海外からの大口需要に対応



Info

■ 金属製品製造業

株式会社富田刃物

住 所	新潟県燕市小関 623 番地 1
T E L	0256-63-2221
U R L	http://www.nisaku.co.jp/



会社 HP